

町連台経出 一般文書

事 務 連 絡

令和8年 1月 20日

各 町 内 会 長 様

白老町地域学校協働本部

本部長 井 内 宏 磨

(白老町教育委員会教育長)

地域学校協働活動広報紙の回覧について（依頼）

厳寒の候、貴台におかれましては益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。

平素より白老町地域学校協働活動にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

さて、このたび標題のとおり「広報紙第22号」が完成いたしました。

つきましては、ご多用のところ大変恐縮に存じますが、下記により貴町内会においてご回覧いただきますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。

記

- 1 発行文書 広報紙「しらおい地学協働だより」第22号（A4版両面印刷）
- 2 部 数 各町内会の班数に町内会長控えを加えた数
- 3 そ の 他 お気づきの点がございましたら、下記までご連絡願います

白老町地域学校協働本部（町教委教育部内）
地域学校協働活動推進員 荻 野 浩 子
TEL：0144-85-2020 FAX：0144-85-2024
専用携帯 080-8299-9054

しらおい地学協働だより

～わくわく、いきいき、すくすく～

令和8年1月20日発行

第22号

文責 地域学校協働本部
推進員 荻野浩子

大きな希望を胸に「令和8年白老町二十歳を祝う会」

1月11日（日）、ウポポイ「民族共生象徴空間」内の体験交流ホールにおいて、「白老町二十歳を祝う会」が挙行されました。色鮮やかな振り袖やスーツ、袴姿に身を包んだ61名の二十歳の若者たちが、来賓や家族が見守る中、緊張した面持ちで式典に臨みました。

アイヌ民族の伝統的衣装で出席した大江隼人さんは、「成人式をウポポイで行うので、あえてアイヌ民族衣装で出たいと思いました。」と話しました。また、今年も北海道栄高校書道部が思いを込めた作品「開花」を掲示、町女性団体連絡協議会の皆さんが受付を手伝うなど、町を挙げて二十歳の門出を祝いました。



「白老町民憲章」を朗読した実行委員の田代莉奈さん



町長に「誓いの言葉」を述べた実行委員の中村隆真さんと大和愛さん

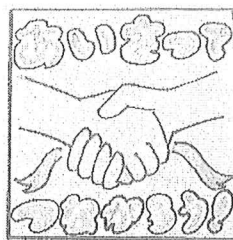


～20歳という大きな節目を迎えた参加者たち～
力強く未来を切り開き、豊かで生きがいのある人生を送ってくれることを祈らずにいられません

第2回学校運営協議会

10月9日（木）、萩野小学校と白翔中学校合同の学校運営協議会が行われました。合同での開催は初めての試みでしたが、「萩野小学校と白翔中学校の連携に向けての取組」をテーマに、3班に分かれて熟議を行い、意見交換も盛んになされました。

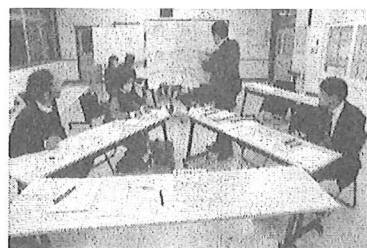
一方、22日（水）には白老中学校区でも同協議会が行われ、数年にわたり協議されてきた「あいさつでつながり直そう」のロゴマークが、小中学校児童生徒の連携によりこの度完成し（右）、これらを浸透させるため、学校と地域がどのように取り組んでいくのが良いのかなどについて、深く議論を交わしました。同協議会は年度末にも実施されます。



白老小でロゴマークを募集し、白老中美術部員が仕上げた「あいさつでつながり直そう」のデザイン



萩野小学校と白翔中学校の合同熟議



白老中学校区における熟議の様子

ふれあいふるさと DAY 開催

白老中学校

10月23日(木)、白老中学校においてふれあいふるさと DAY が行われました。探究的学習を横断的に行うことを通して、自己の生き方を考えることをねらいとし、様々な学習成果を保護者はじめ地域の方々や職場体験でお世話になった企業の方々などに発表しました。

特に体育館で行われた3年生の発表「白老アイディアコレクション～選ばれる町、住みたい町を目指すために～」では、訪れていた大塩町長が「今後の白老町のまちづくりをどのように考えたら良いのかを、中学生が真剣に考えて取り組み、趣向を凝らした発表の数々に大変感銘を受けた」と感想を述べました。

前日のリハーサルには
白老小6年生を招待 →



↑大変感銘を受け
たと話した町長

竹浦小学校

ふれあいふるさと DAY は竹浦小学校でも12月13日(土)に行われました。地域住民や高齢者大学の学生ら40人を招き、児童が学習や研究成果の発表などを行いました。

また、「昔の遊び体験」では児童たちが自分で調べて作成した福笑いやメンコなど3つの遊びを来校者に教え、終始にこやかで楽しい時間をいっしょに過ごしました。

児童と来校者の交流が図ら
れた「昔の遊び体験」 →



← 児童11人に
対し、来校者は
なんと40人!!
地域を巻き込み
盛り上がった
「竹小ふれあい
ふるさと DAY」

「まちづくりアイデアコンクール」表彰状授与式



『最優秀賞(町長賞)』を初め5つの賞を受賞し
誇らしげな白翔中学校3年生の代表者ら

「町長による地方自治に関わる特別授業」を受講(7月)した中学校3年が、「住みよいまちづくり事業」を考え、町に提案するまちづくりアイデアコンクールの表彰状授与式が12月22日(月)、白老中、白翔中の両校で行われました。『最優秀賞』には白翔中3班の「白老の魅力を生かした春夏秋冬イベント計画」が選ばれ、大塩町長から班代表の津田稜太さん(前列右から2人目)と篠村蒼太さん(前列右)に表彰状と記念品が手渡されました。